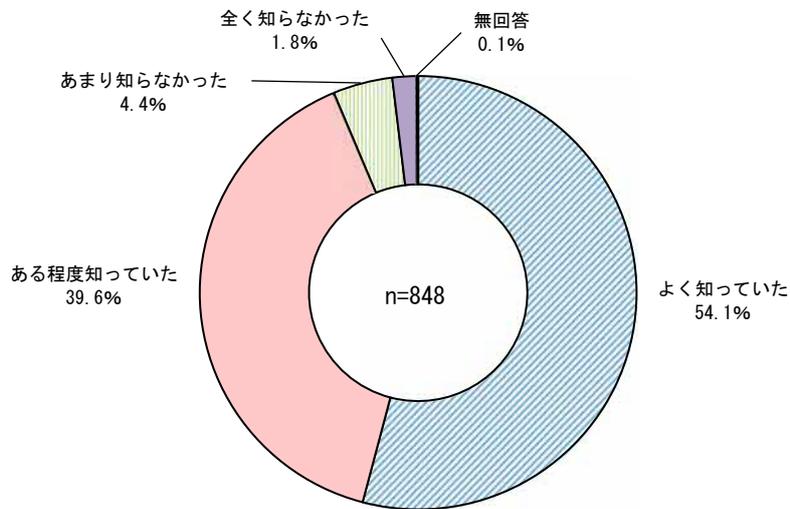


2 受動喫煙防止対策について

問1 受動喫煙について、知っていましたか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「よく知っていた」(54.1%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ある程度知っていた」(39.6%)、「あまり知らなかった」(4.4%)の順となっている。

【圏域別】

「よく知っていた」については、道央広域連携地域(56.2%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(55.8%)となっている。「ある程度知っていた」については、十勝連携地域(51.9%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(48.2%)となっている。

【人口規模別】

「よく知っていた」については、札幌市(60.4%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(52.4%)となっている。「ある程度知っていた」については、町村部(48.3%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(45.9%)となっている。

【性別】

「よく知っていた」については、男性55.6%、女性52.7%となっており、「ある程度知っていた」については、男性39.2%、女性40.4%となっている。

【年代別】

「よく知っていた」については、70歳以上(58.2%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(55.5%)となっている。「ある程度知っていた」については、18～29歳(43.9%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(42.3%)となっている。

【職種別】

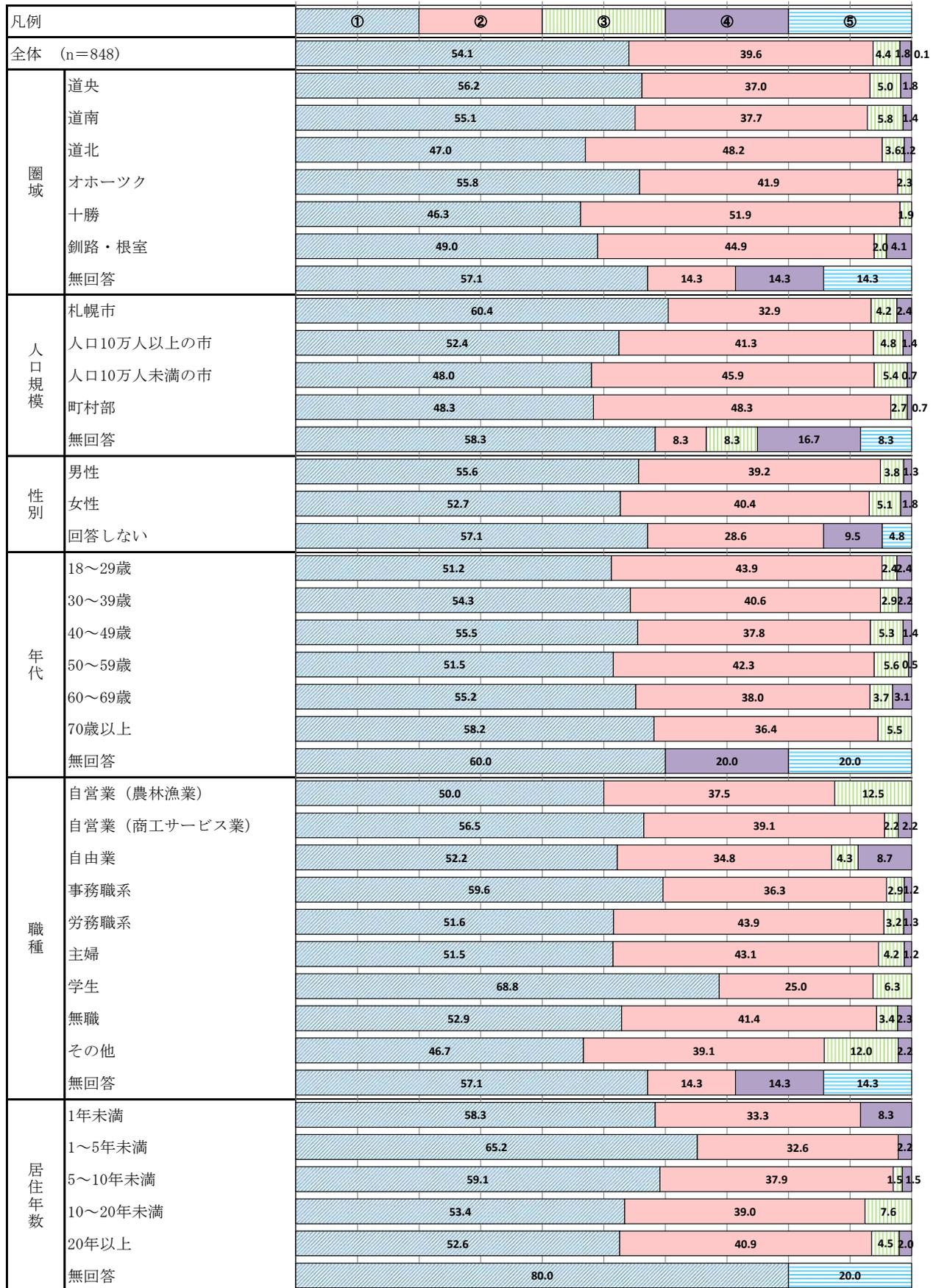
「よく知っていた」については、学生(68.8%)が最も割合が高く、次いで事務職系(59.6%)となっている。「ある程度知っていた」については、労務職系(43.9%)が最も割合が高く、次いで主婦(43.1%)となっている。

【居住年数別】

「よく知っていた」については、1～5年未満(65.2%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(59.1%)となっている。「ある程度知っていた」については、20年以上(40.9%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(39.0%)となっている。

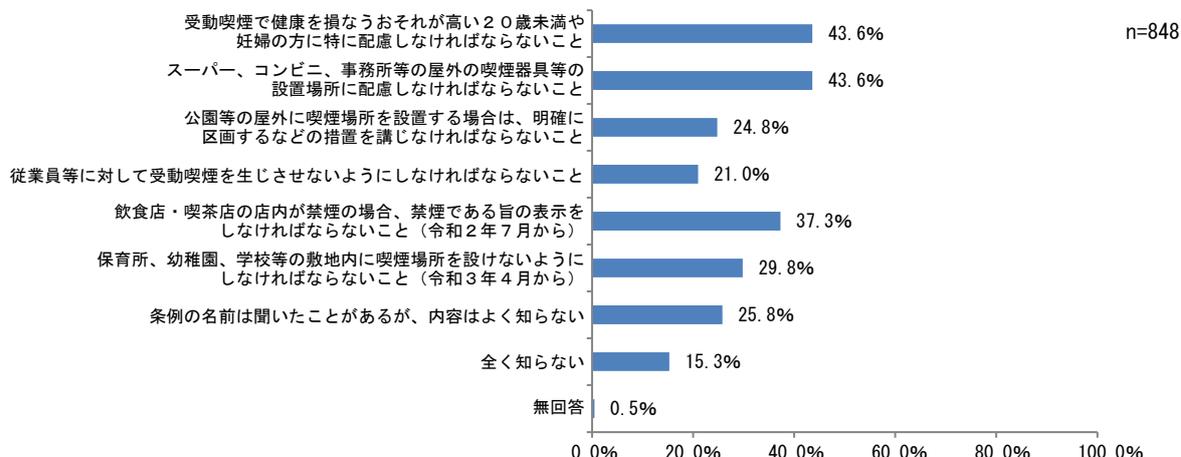
①よく知っていた ②ある程度知っていた ③あまり知らなかった
④全く知らなかった ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問2 本年3月に制定された「北海道受動喫煙防止条例」の内容を知っていますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」と「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」が同率（43.6%）で答えた方の割合が最も高く、次いで「飲食店・喫茶店の店内が禁煙の場合、禁煙である旨の表示をしなければならないこと（令和2年7月から）」（37.3%）、「保育所、幼稚園、学校等の敷地内に喫煙場所を設けないようにしなければならないこと（令和3年4月から）」（29.8%）の順となっている。

【圏域別】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」については、オホーツク連携地域（51.2%）が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域（46.9%）となっている。「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」については、釧路・根室連携地域（51.0%）が最も割合が高く、次いで道北連携地域（49.4%）となっている。

【人口規模別】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」については、人口10万人以上の市（50.0%）が最も割合が高く、次いで町村部（43.6%）となっている。「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」については、人口10万人以上の市（53.8%）が最も割合が高く、次いで町村部（40.9%）となっている。

【性別】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」については、男性48.1%、女性39.6%となっており、「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」については、男性46.5%、女性40.4%となっている。

【年代別】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」については、60～69歳（52.1%）が最も割合が高く、次いで70歳以上（49.1%）となっている。「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」については、60～69歳（62.6%）が最も割合が高く、次いで40～49歳（45.5%）となっている。

【職種別】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」については、自営業（商工サービス業）（45.7%）が最も割合が高く、次いで主婦（44.9%）となっている。「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」については、自営業（商工サービス業）とその他が同率（50.0%）で最も割合が高く、次いで無職（47.1%）となっている。

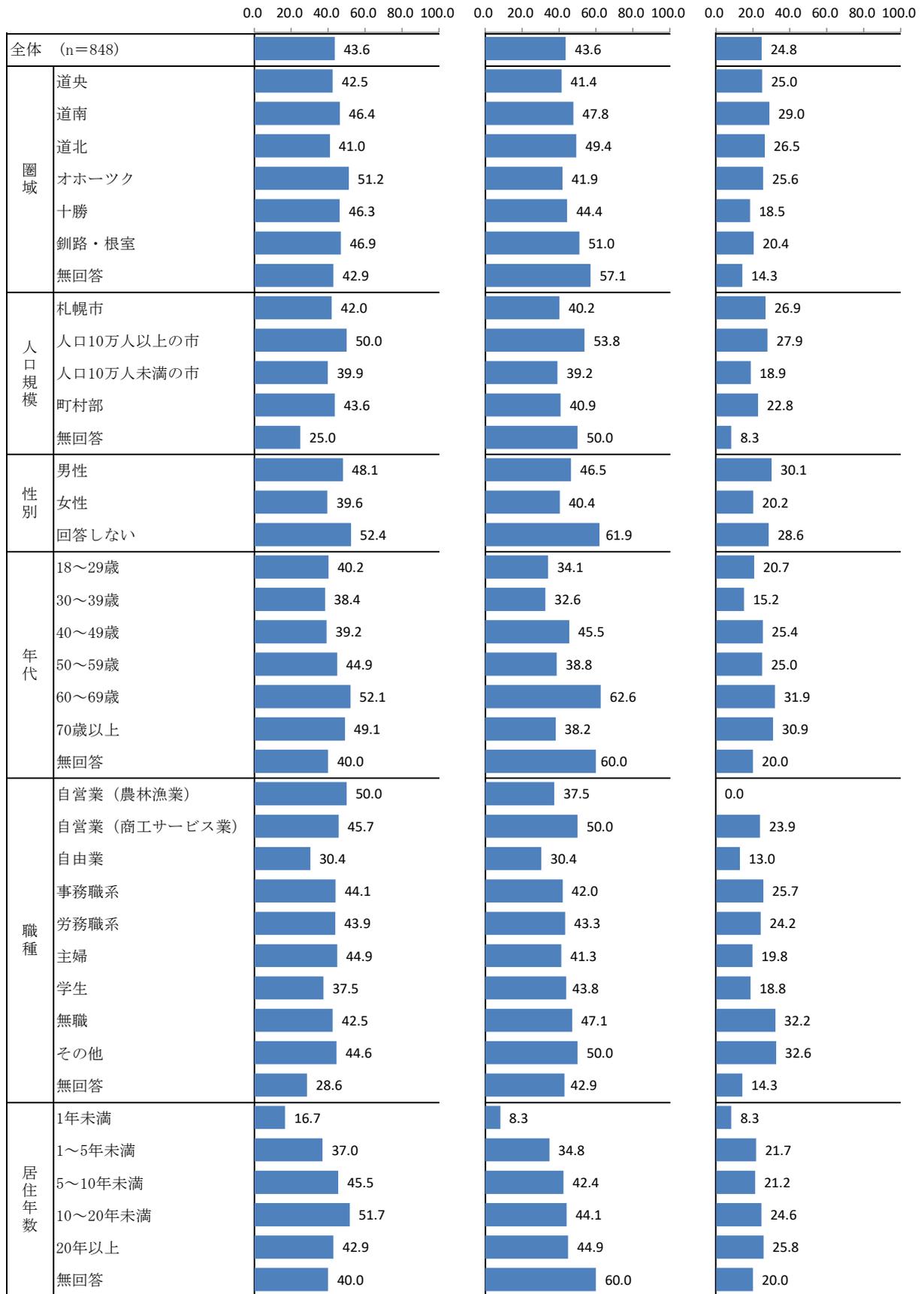
【居住年数別】

「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」については、10～20年未満（51.7%）が最も割合が高く、次いで5～10年未満（45.5%）となっている。「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」については、20年以上（44.9%）が最も割合が高く、次いで10～20年未満（44.1%）となっている。

受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと

スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと

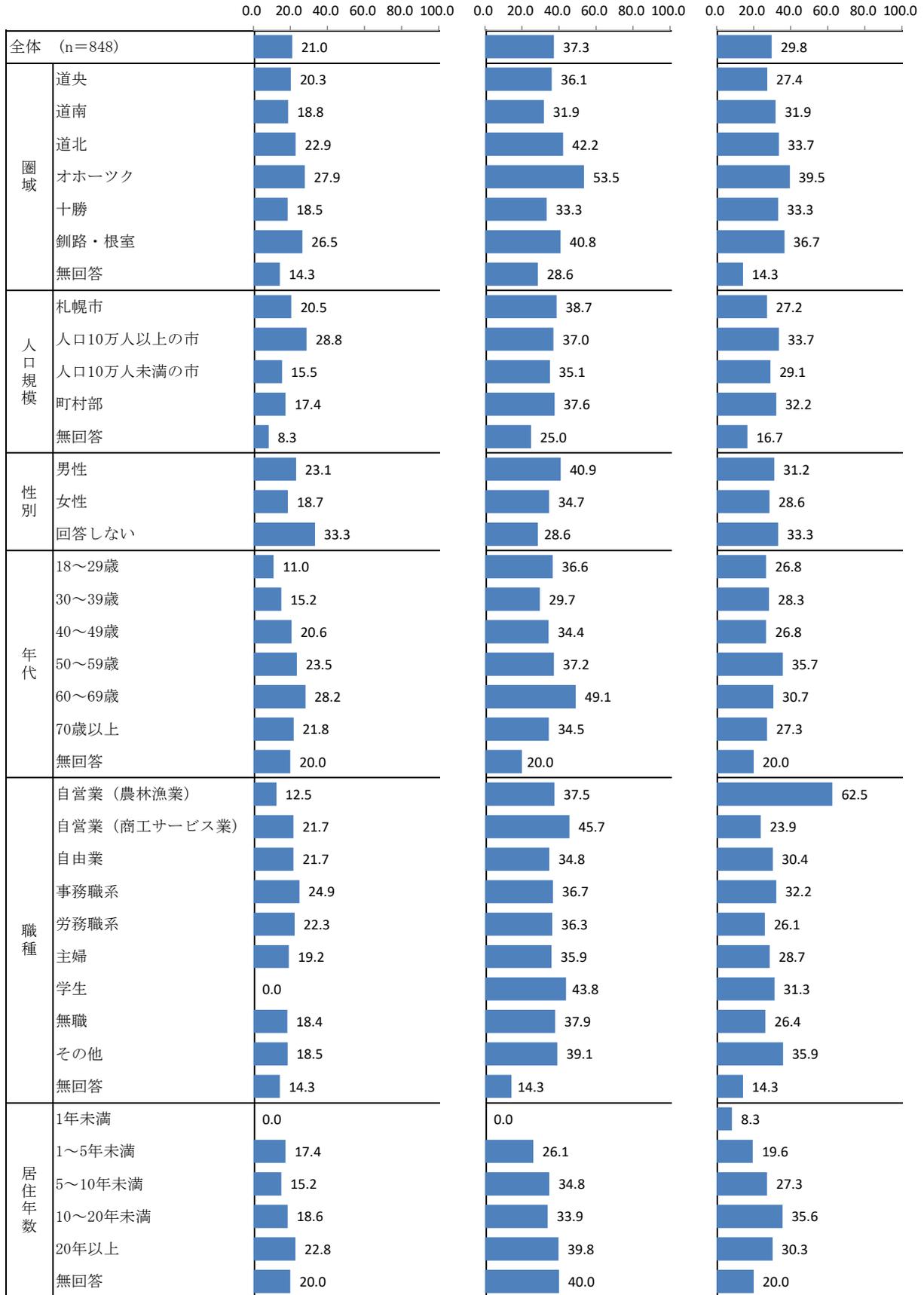
公園等の屋外に喫煙場所を設置する場合は、明確に区画するなどの措置を講じなければならないこと



従業員等に対して受動喫煙を
生じさせないようにしなければ
ならないこと

飲食店・喫茶店の店内が禁煙
の場合、禁煙である旨の表示
をしなければならないこと
(令和2年7月から)

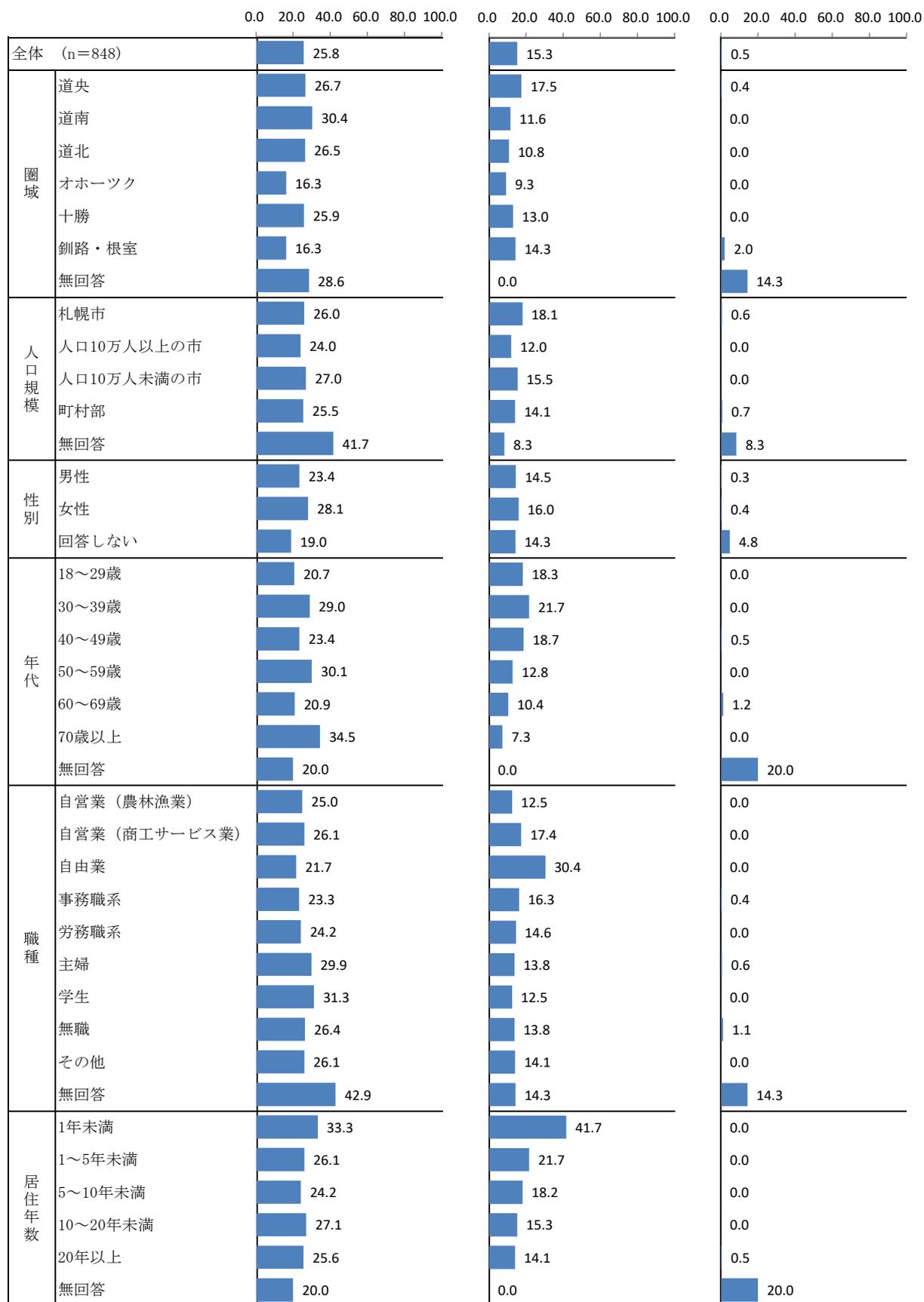
保育所、幼稚園、学校等の敷
地内に喫煙場所を設けないよ
うにしなければならないこと
(令和3年4月から)



条例の名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない

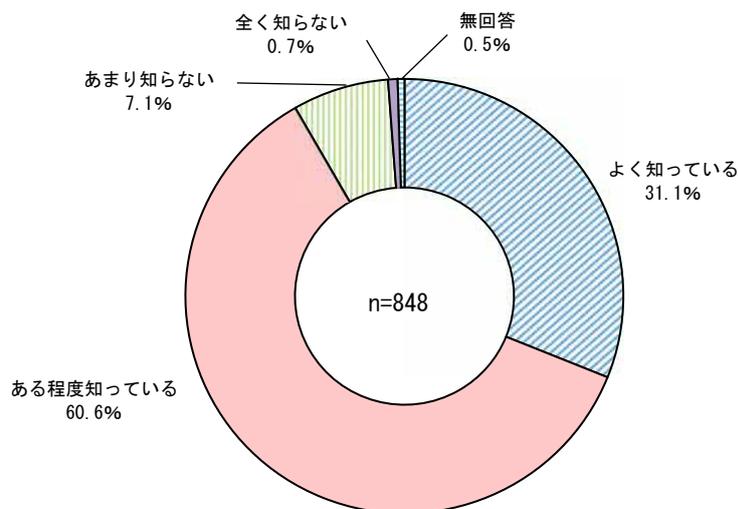
全く知らない

無回答



問3 受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などについてどの程度知っていますか。

次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「ある程度知っている」(60.6%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「よく知っている」(31.1%)、「あまり知らない」(7.1%)の順となっている。

【圏域別】

「ある程度知っている」については、道北連携地域(71.1%)が最も割合が高く、次いで十勝連携地域(66.7%)となっている。「よく知っている」については、オホーツク連携地域(39.5%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(32.8%)となっている。

【人口規模別】

「ある程度知っている」については、町村部(67.1%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(61.5%)となっている。「よく知っている」については、札幌市(33.5%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(32.2%)となっている。

【性別】

「ある程度知っている」については、男性60.5%、女性60.7%となっており、「よく知っている」については、男性30.9%、女性31.4%となっている。

【年代別】

「ある程度知っている」については、50～59歳(65.8%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(63.0%)となっている。「よく知っている」については、40～49歳(36.8%)が最も割合が高く、次いで70歳以上(34.5%)となっている。

【職種別】

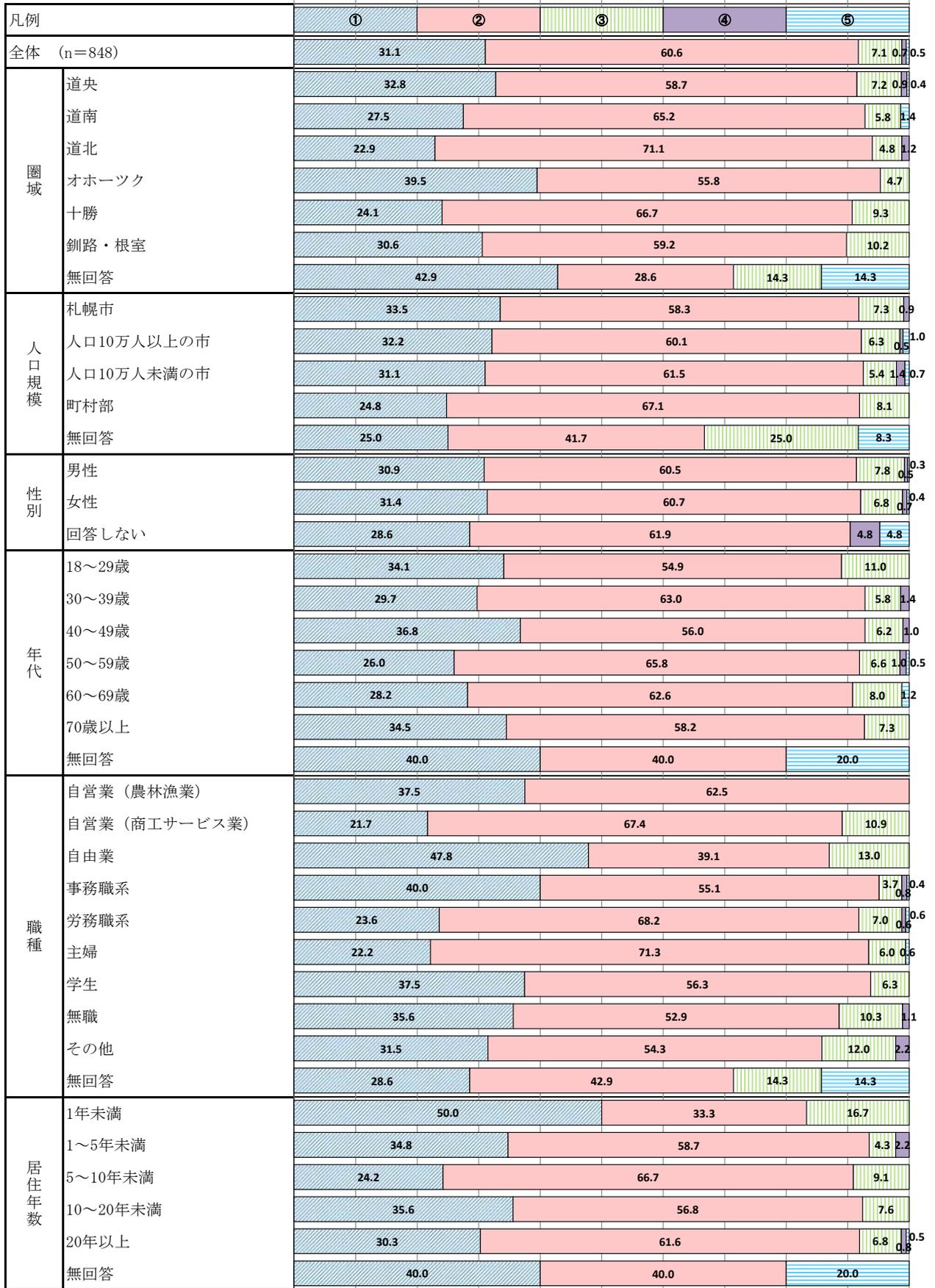
「ある程度知っている」については、主婦(71.3%)が最も割合が高く、次いで労務職系(68.2%)となっている。「よく知っている」については、自由業(47.8%)が最も割合が高く、次いで事務職系(40.0%)となっている。

【居住年数別】

「ある程度知っている」については、5～10年未満(66.7%)が最も割合が高く、次いで20年以上(61.6%)となっている。「よく知っている」については、1年未満(50.0%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(35.6%)となっている。

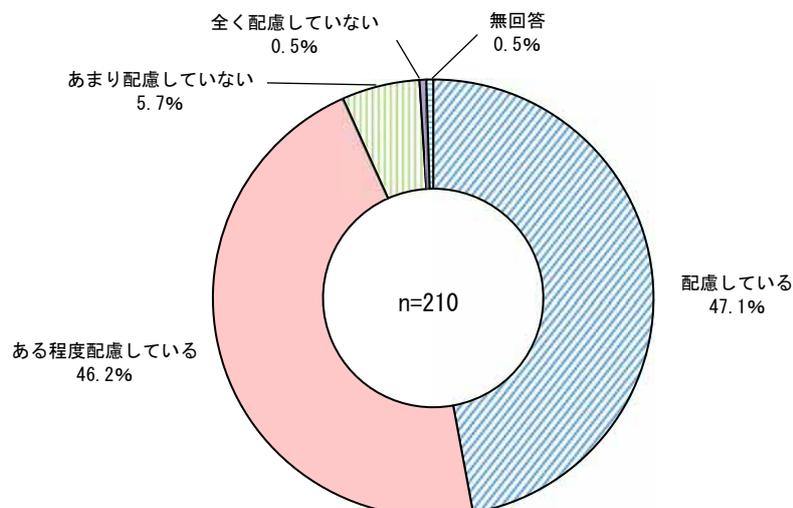
①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない
 ④全く知らない ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問4（※喫煙される方のみ回答）

喫煙される方は、喫煙をする際自らの喫煙により受動喫煙を生じさせることがないように配慮していますか。次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「配慮している」(47.1%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ある程度配慮している」(46.2%)、「あまり配慮していない」(5.7%)の順となっている。

【圏域別】

「配慮している」については、道南連携地域(63.2%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(53.8%)となっている。「ある程度配慮している」については、十勝連携地域(60.0%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(56.0%)となっている。

【人口規模別】

「配慮している」については、町村部(56.7%)が最も割合が高く、次いで札幌市(52.0%)となっている。「ある程度配慮している」については、人口10万人未満の市(55.0%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(50.0%)となっている。

【性別】

「配慮している」については、男性48.4%、女性47.9%となっており、「ある程度配慮している」については、男性43.0%、女性52.1%となっている。

【年代別】

「配慮している」については、70歳以上(90.0%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(59.2%)となっている。「ある程度配慮している」については、30～39歳(61.1%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(57.4%)となっている。

【職種別】

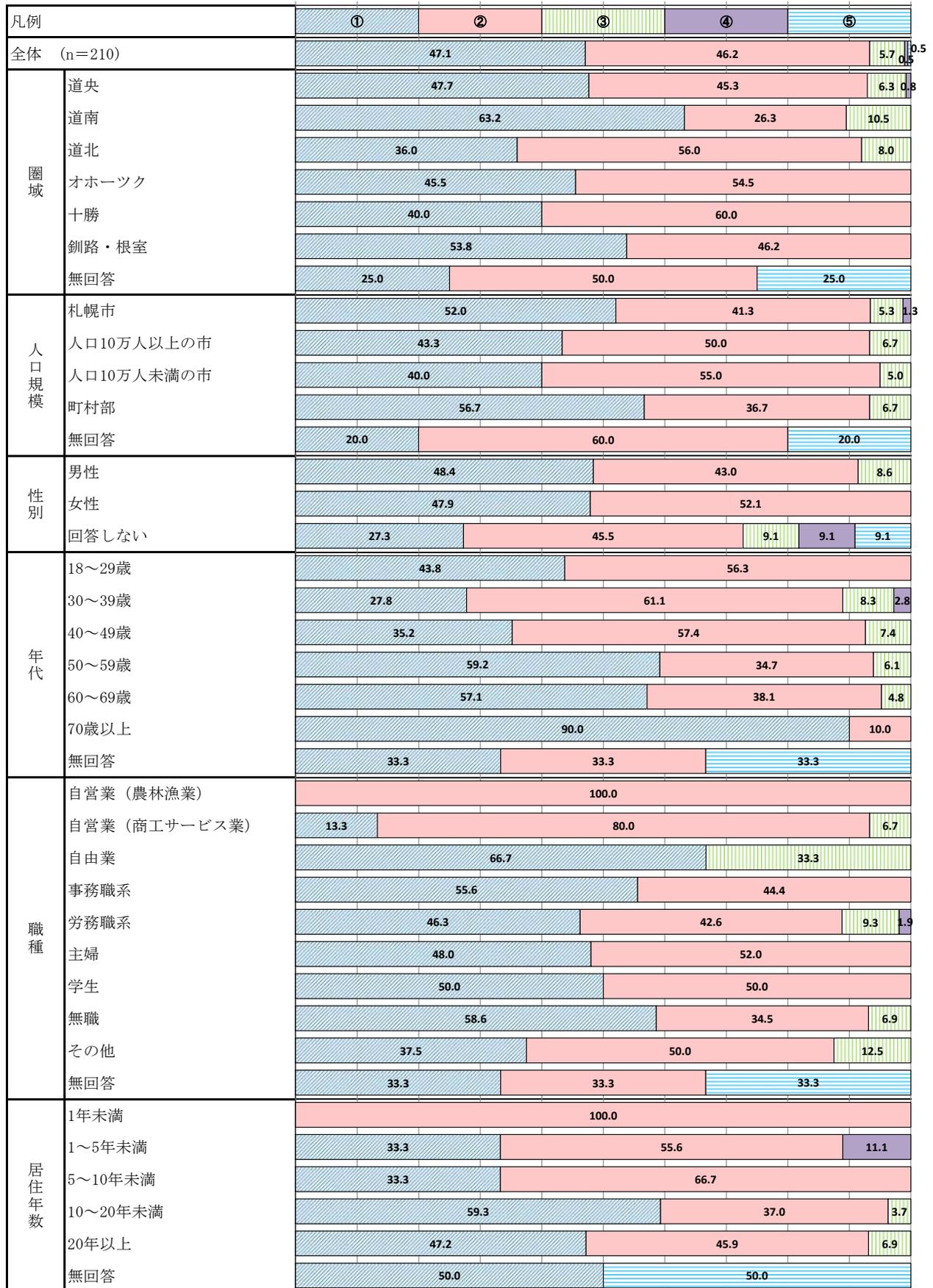
「配慮している」については、自由業(66.7%)が最も割合が高く、次いで無職(58.6%)となっている。「ある程度配慮している」については、自営業(商工サービス業)(80.0%)が最も割合が高く、次いで主婦(52.0%)となっている。

【居住年数別】

「配慮している」については、10～20年未満(59.3%)が最も割合が高く、次いで20年以上(47.2%)となっている。「ある程度配慮している」については、1年未満(100.0%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(66.7%)となっている。

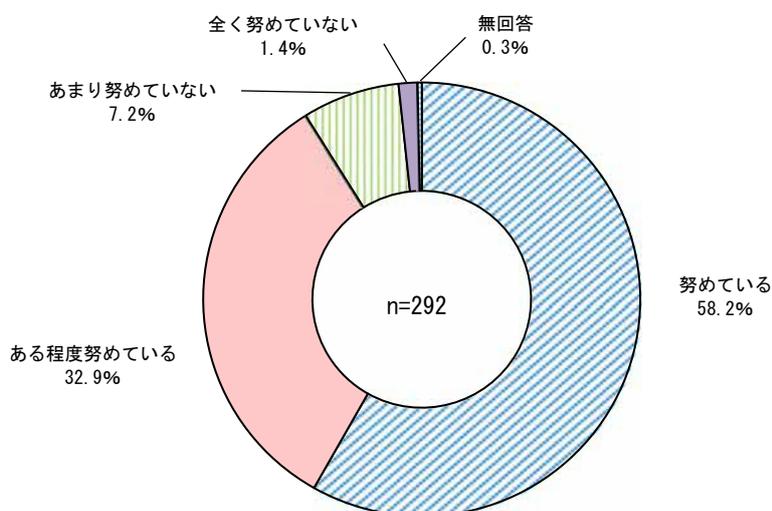
①配慮している ②ある程度配慮している ③あまり配慮していない
 ④全く配慮していない ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問5（※子どもを養育されている方のみ回答）

保護者の方は、自分の子どもに受動喫煙を生じさせない（子どもの前で喫煙しない、喫煙場所付近に立ち寄らない等）よう努めていますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「努めている」(58.2%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ある程度努めている」(32.9%)、「あまり努めていない」(7.2%)の順となっている。

【圏域別】

「努めている」については、十勝連携地域(70.6%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(63.2%)となっている。「ある程度努めている」については、道南連携地域(42.1%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(41.2%)となっている。

【人口規模別】

「努めている」については、札幌市と町村部が同率(66.0%)で最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(52.5%)となっている。「ある程度努めている」については、人口10万人以上の市(42.3%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(32.8%)となっている。

【性別】

「努めている」については、男性52.8%、女性64.1%となっており、「ある程度努めている」については、男性35.4%、女性30.8%となっている。

【年代別】

「努めている」については、18～29歳(77.8%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(73.3%)となっている。「ある程度努めている」については、70歳以上(40.0%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(37.7%)となっている。

【職種別】

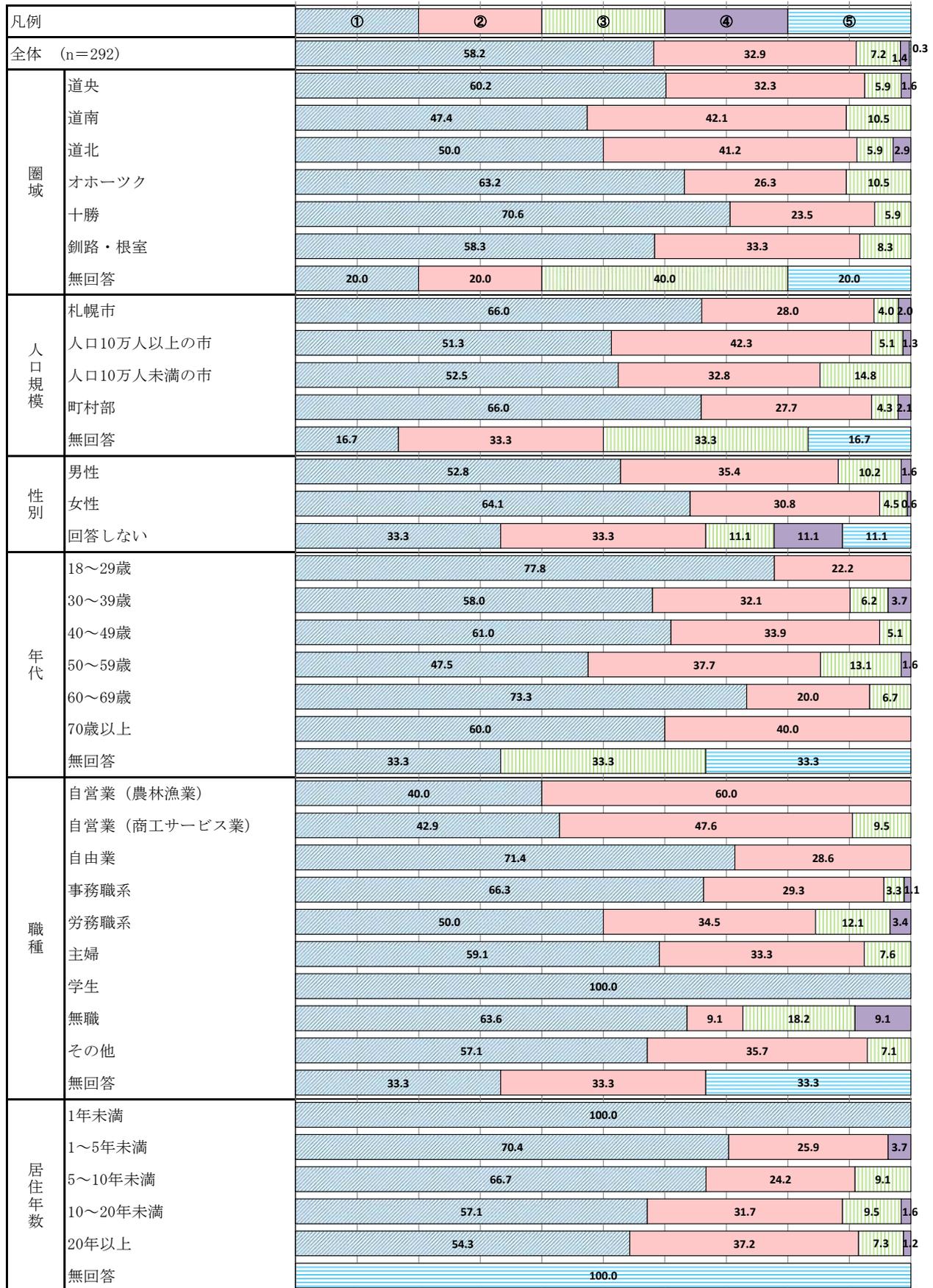
「努めている」については、学生(100.0%)が最も割合が高く、次いで自由業(71.4%)となっている。「ある程度努めている」については、自営業(商工サービス業)(47.6%)が最も割合が高く、次いでその他(35.7%)となっている。

【居住年数別】

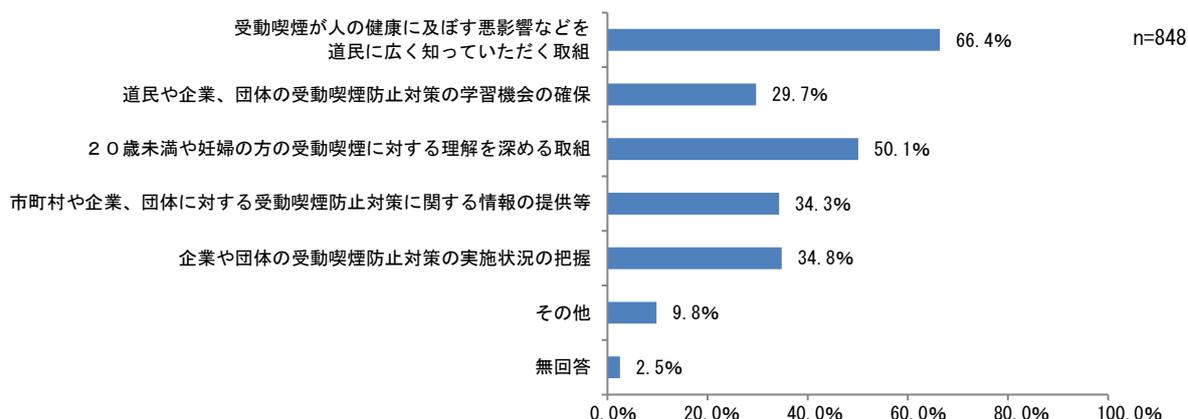
「努めている」については、1年未満(100.0%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(70.4%)となっている。「ある程度努めている」については、20年以上(37.2%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(31.7%)となっている。

①努めている ②ある程度努めている ③あまり努めていない
 ④全く努めていない ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問6 北海道が行う受動喫煙防止対策として、今後、どのような取組が重要だと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」(66.4%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」(50.1%)、「企業や団体の受動喫煙防止対策の実施状況の把握」(34.8%)の順となっている。

【圏域別】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」については、道央広域連携地域と道南連携地域が同率(69.6%)で最も割合が高く、次いで十勝連携地域(61.1%)となっている。「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」については、オホーツク連携地域(58.1%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(55.4%)となっている。

【人口規模別】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」については、札幌市(69.2%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(66.8%)となっている。「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」については、人口10万人以上の市(51.0%)が最も割合が高く、次いで札幌市(50.5%)となっている。

【性別】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」については、男性64.0%、女性69.0%となっており、「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」については、男性44.1%、女性54.9%となっている。

【年代別】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」については、70歳以上(87.3%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(71.4%)となっている。「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」については、18～29歳(53.7%)が最も割合が高く、次いで70歳以上(52.7%)となっている。

【職種別】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」については、学生(75.0%)が最も割合が高く、次いで無職(73.6%)となっている。「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」については、自由業(73.9%)が最も割合が高く、次いで主婦(52.7%)となっている。

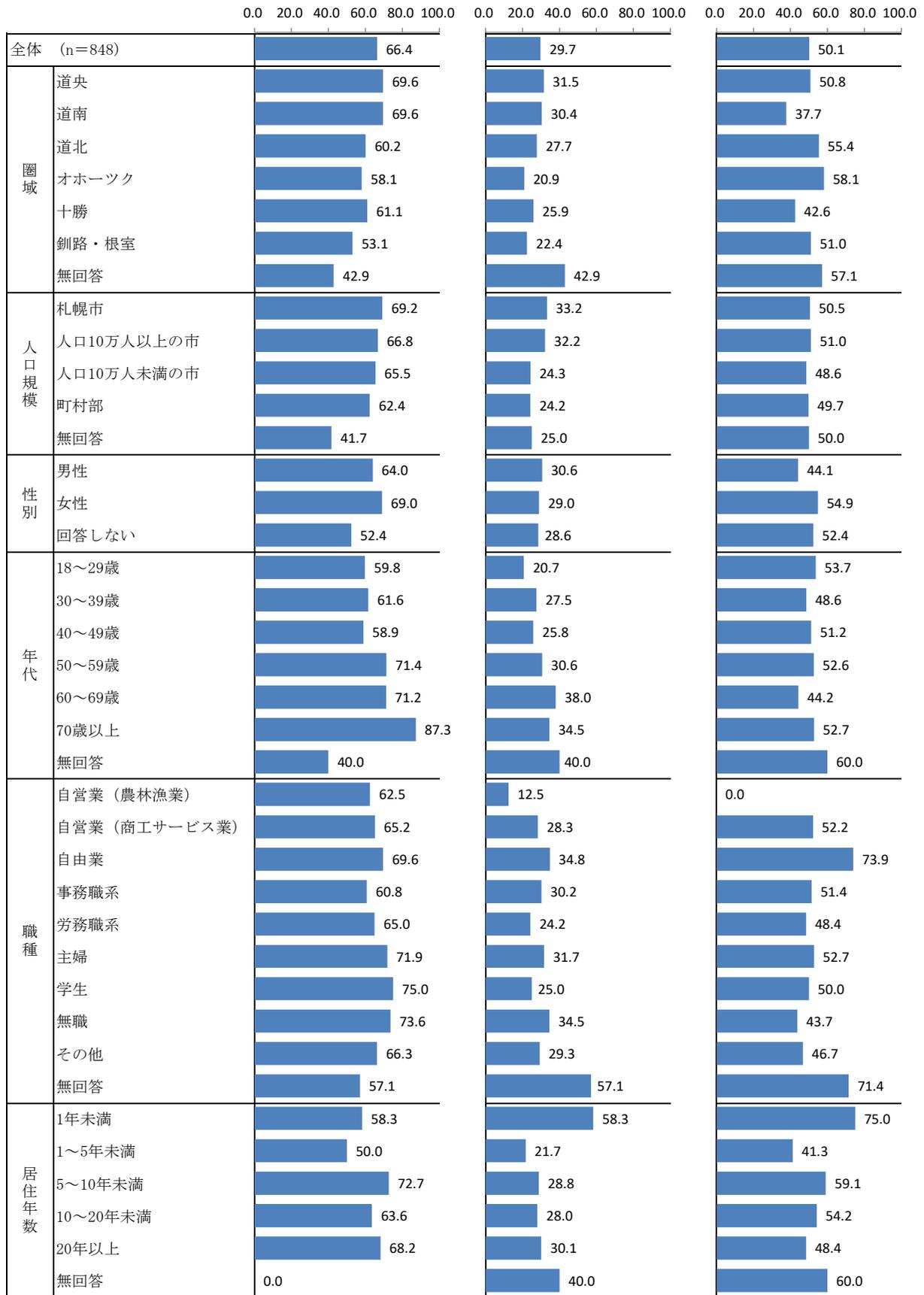
【居住年数別】

「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」については、5～10年未満(72.7%)が最も割合が高く、次いで20年以上(68.2%)となっている。「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」については、1年未満(75.0%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(59.1%)となっている。

受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組

道民や企業、団体の受動喫煙防止対策の学習機会の確保

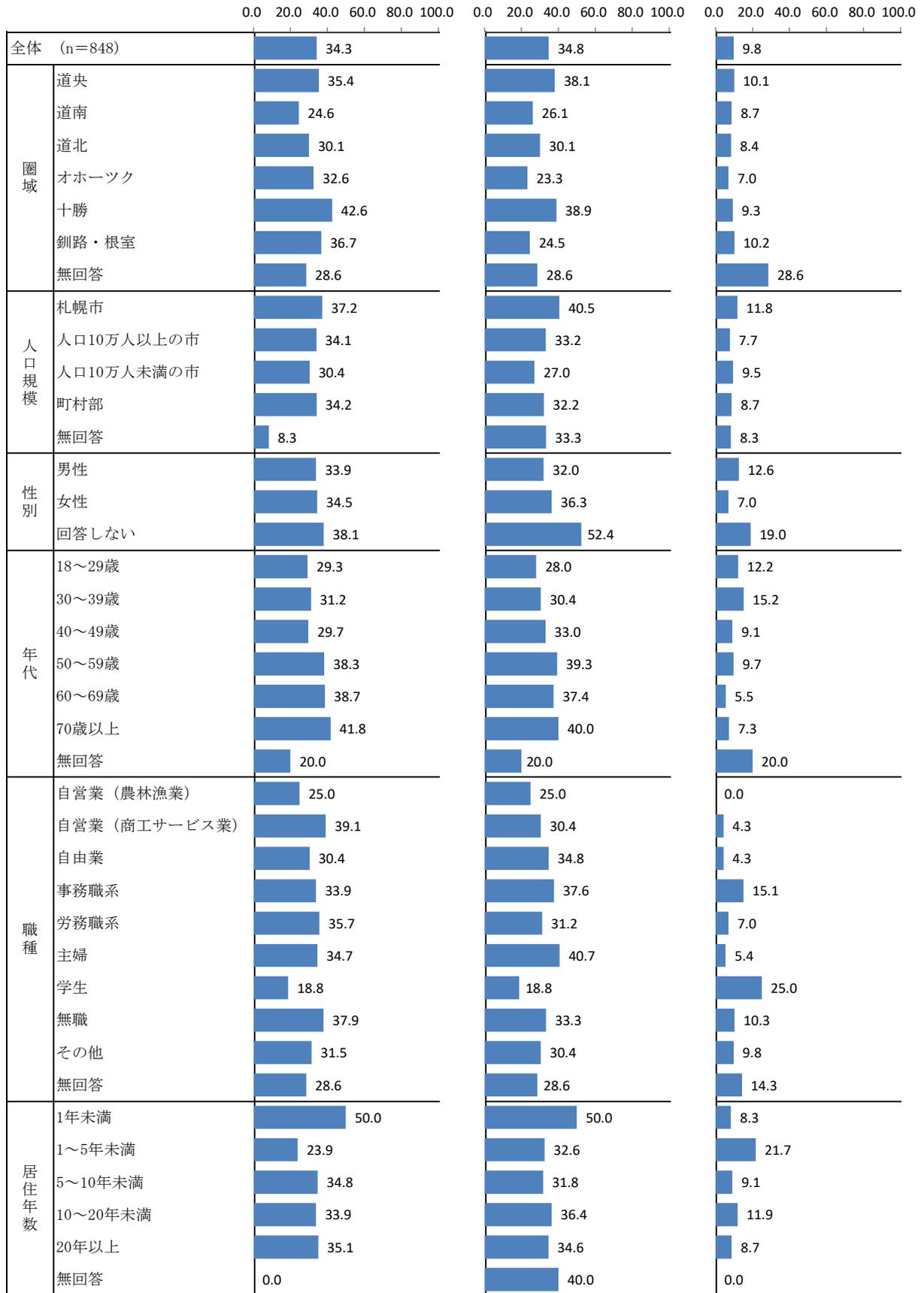
20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組



市町村や企業、団体に対する
受動喫煙防止対策に関する情報
の提供等

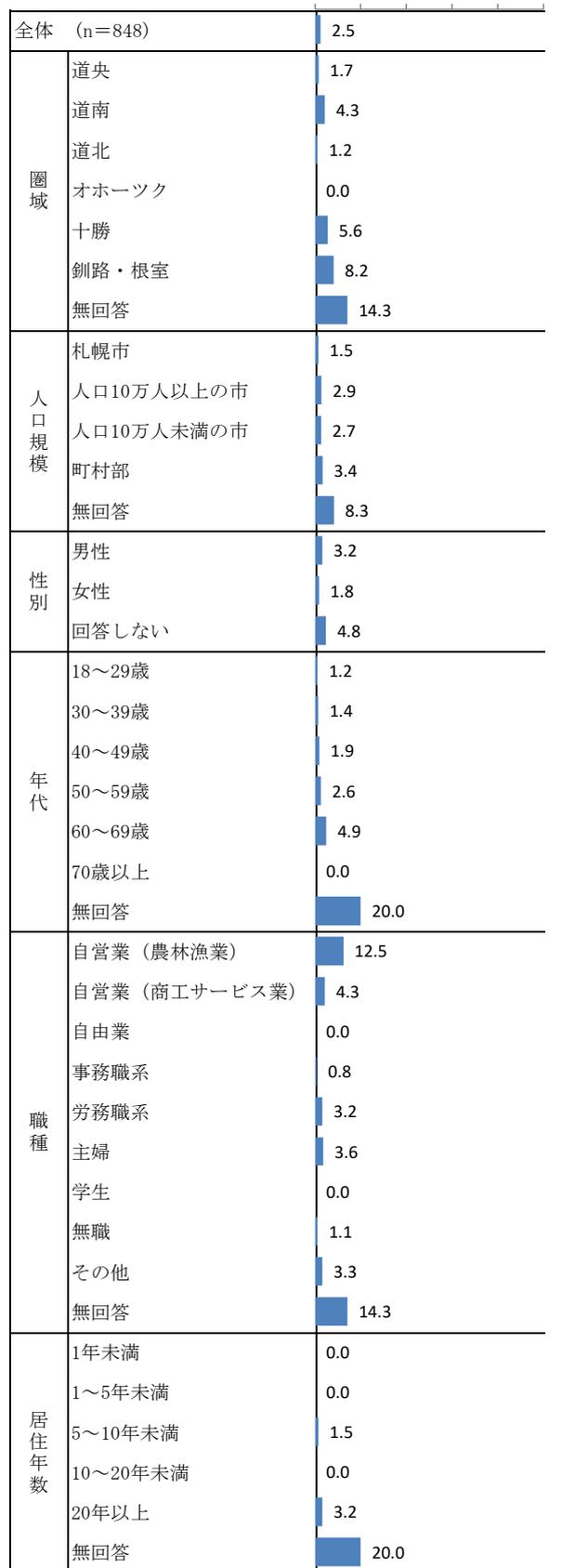
企業や団体の受動喫煙防止対
策の実施状況の把握

その他



無回答

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



「受動喫煙防止対策について」の調査を終えて

受動喫煙の認知度を見ると、「よく知っていた」又は「ある程度知っていた」と回答した方が9割以上を占める一方、本年3月に制定された「北海道受動喫煙防止条例」の認知度を見ると、5割を超える項目はなく、「受動喫煙で健康を損なうおそれが高い20歳未満や妊婦の方に特に配慮しなければならないこと」及び「スーパー、コンビニ、事務所等の屋外の喫煙器具等の設置場所に配慮しなければならないこと」が43.6%で最も高く、また、「内容はよく知らない」又は「全く知らない」と回答した方は約4割という状況となっている。

また、北海道が行う受動喫煙防止対策について、今後の重要な取組としては、「受動喫煙が人の健康に及ぼす悪影響などを道民に広く知っていただく取組」が66.4%と最も高く、次いで「20歳未満や妊婦の方の受動喫煙に対する理解を深める取組」、「企業や団体の受動喫煙防止対策の実施状況の把握」の順となっている。

こうした調査結果については、「北海道受動喫煙防止対策推進プラン（仮称）」の策定において反映させるとともに、今後は、条例の更なる普及啓発に努めるとともに、道民ニーズを踏まえた受動喫煙防止対策の推進を図っていく。

（保健福祉部健康安全局地域保健課）